

京都府小中学生のスポーツ活動に関する実態調査（概要）

（令和4年8月実施）

調査の趣旨・目的

京都府内における小中学生を対象に、地域のスポーツクラブ及び公立中学校の部活動の設置状況及び活動実態等について調査・分析を行い、地域子ども達がスポーツに親しみ楽しめる環境の充実に向けた施策を検討するための基礎資料を得る

調査内容

- （1）京都府内に所在する小中学生を対象とした地域のスポーツクラブ（京都市内を除く）
の設置状況及び活動実態の調査

【調査対象】京都府内（京都市内を除く）に住所を有し、小中学生を対象としたスポーツ教室
を行っている民間等のスポーツクラブ 約500件

- （2）公立中学校（京都市立学校を除く）の部活動の設置状況及び活動実態の調査

【調査対象】京都府内公立中学校96校（京都市立学校を除く）

回収結果

調査対象	調査数	回収数	有効回答数
地域スポーツクラブ	567	360	346
公立中学校	96	815	815

(1) 地域スポーツクラブ（京都市内を除く）

○クラブ数について

- ・地域スポーツクラブは、山城管内が最も多く、次いで中丹、丹後、南丹と続く
- ・うち、中学生を対象とするクラブ数は、全体の約53%となっており、中丹以外の地域では5割を超えている

※市町村スポーツ担当課が把握しているクラブ数をもとに集計を実施しており、全数調査ではない。

表1 府内地域スポーツクラブ数

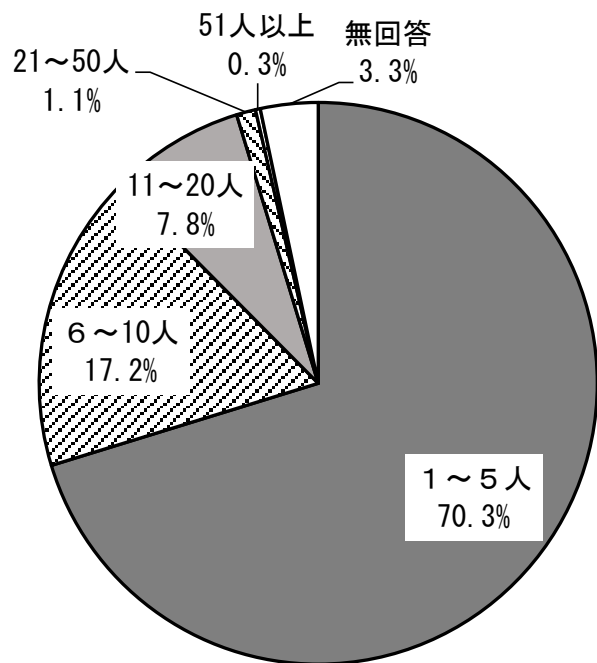
	地域スポーツクラブ数	うち中学生を対象とするクラブ
丹後管内	37	20
中丹管内	47	13
南丹管内	28	14
山城管内	248	147
府計	360	194

(1) 地域スポーツクラブ (京都市内を除く)

○指導者数について

- ・指導者数は、1～5人のクラブが府全体の約7割
- ・指導者数別にクラブ数をみると、「2人」(86件)が最も多く、次いで「3人」(67件)、「4人」「5人」(ともに36件)となっている

図1 指導者数別 クラブ数
(指導者数の規模別割合)



○会費等について

- ・会費は、3,000円未満が府全体の約5割、3,000円以上5,000円未満が府全体の3割弱
- ・会費5,000円以上のクラブは、野球・サッカーが多い傾向
- ・入会金は、ないクラブが府全体の約5割、3,000円未満が府全体の約3割

図2 会費の分布

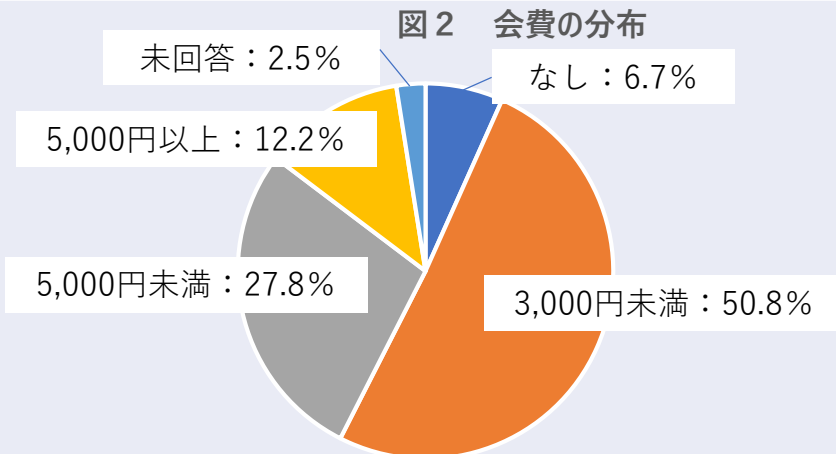
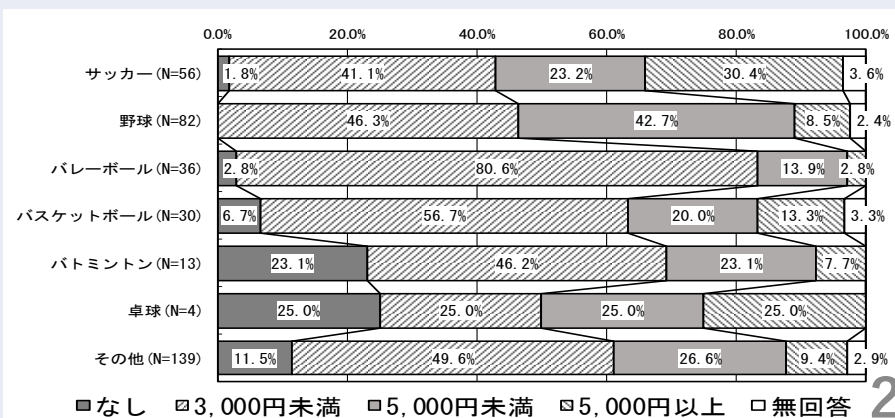


図3 種目別 会費の状況



(1) 地域スポーツクラブ (京都市内を除く)

○練習日・練習時間について

- ・練習日は、土曜日が府全体の7割弱、日曜日が府全体の6割強、水曜日が府全体の約25%
- ・練習時間は、2時間以上が府全体の7割弱、1時間以上2時間未満が府全体の約25%

図4 練習日

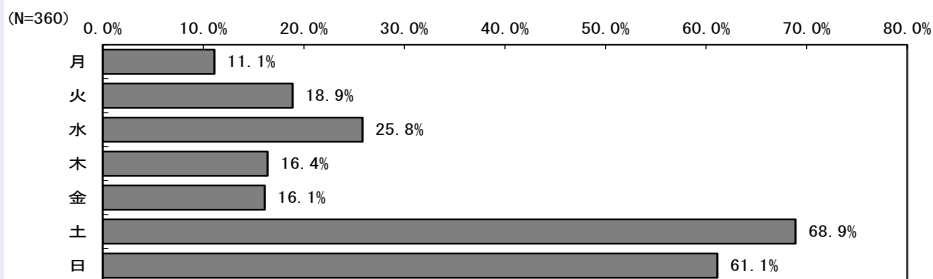
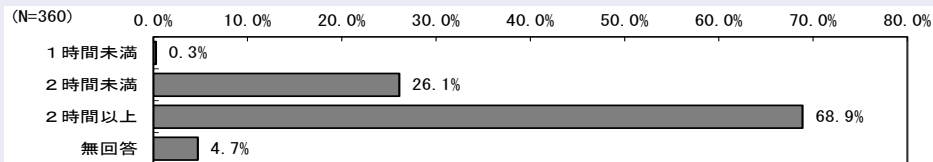


図5 練習時間



○送迎の実施について

- ・送迎車両のあるクラブは、府全体の約1割
- ・サッカー・バレーボール・野球の送迎車両のある割合は、15%前後で、6種目の他のクラブに比べて多い

図6 送迎の実施状況

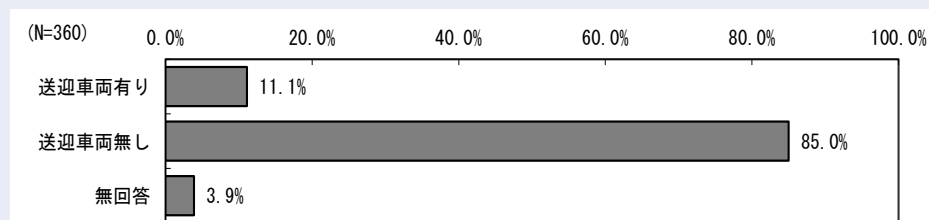
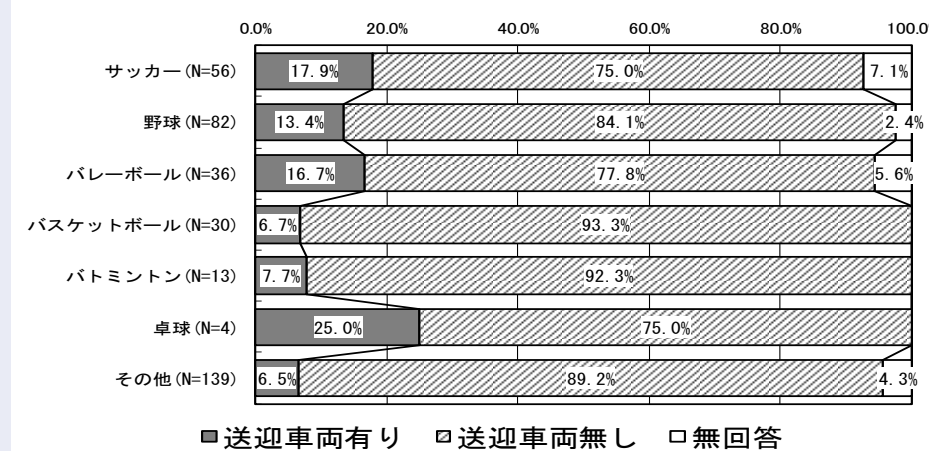


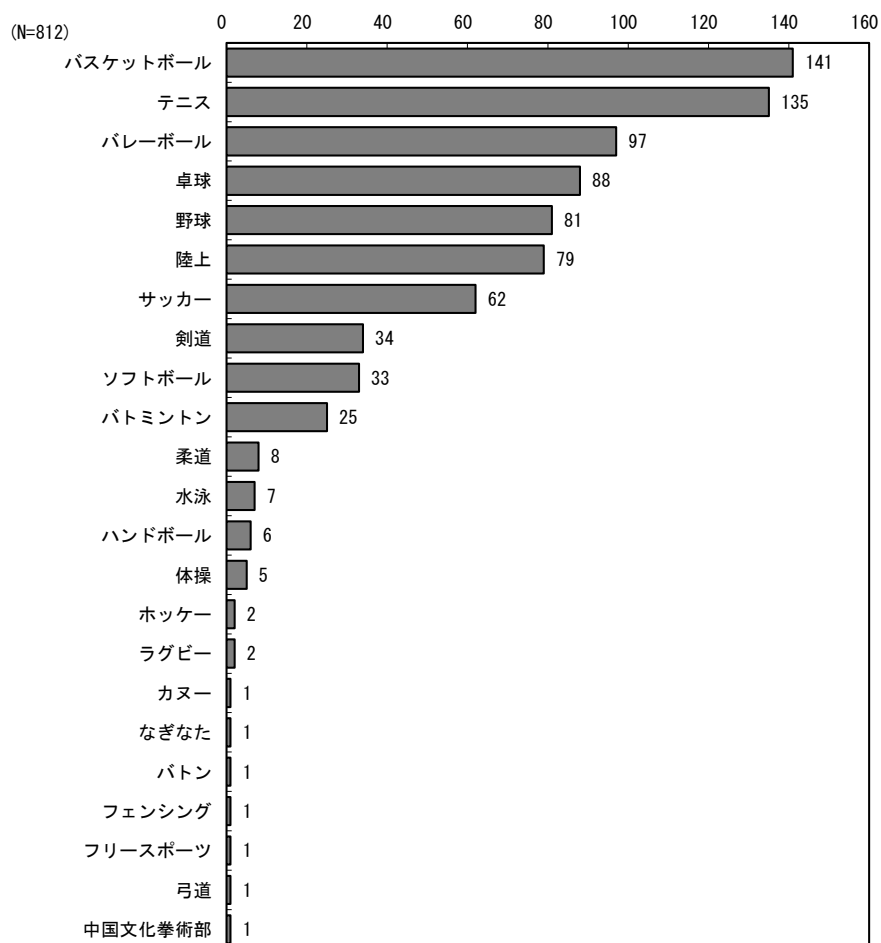
図7 種目別 送迎の実施状況



(2) 公立中学校 (京都市立学校を除く)

○種目について
種目の分布をみると、「バスケットボール」(141件)が最も多く、次いで「テニス」(135件)、「バレーボール」(97件)となっている。

図8 部活動種目数



○中学校部活動設置数及び設置率について
中学校数に基づく部活動設置数については、最も多い山城管内に比べ、中丹管内が最も低い設置率となっている。

表2 種目別 部活動設置率

	区分	サッカー	野球	バレーボール	バスケットボール	中学校数
丹後管内	部活動数	7	11	11	17	12
	設置率	58%	92%	46%	71%	
中丹管内	部活動数	6	17	17	26	22
	設置率	27%	77%	39%	59%	
南丹管内	部活動数	10	12	13	20	17
	設置率	59%	71%	38%	59%	
山城管内	部活動数	39	41	55	77	44
	設置率	89%	93%	63%	88%	
府計	部活動数	62	81	96	140	95
	設置率	65%	85%	51%	74%	

※ バレーボール、バスケットボールについては、1種目につき部活動数は2(男女)として設置率を換算

(2) 公立中学校（京都市立学校を除く）

○指導者数について

- ・種目経験のある指導者のいる種目は、6種目ではバスケットボール・野球が突出して多い
- ・種目経験のない指導者のいる種目は、6種目では卓球・バスケットボール・バレーボールが突出して多い
- ・外部指導者のいる種目は、6種目では卓球・バスケットボール・バレーボールが多い
- ・公認スポーツ資格保有者のいる種目は、6種目ではバスケットボールが突出して多く、次いでサッカーとなっている。

○部費等について

- ・部費は、「なし」が、府全体の95%
- ・すべての種目で、「なし」が9割以上。バドミントン・サッカーの部費は、1,000円未満の割合が約6～7%で、6種目の他の運動部活動に比べてやや多い。
- ・その他の費用は、5,000円以上の運動部活動が府全体の約65%、その他費用のない運動部活動が府全体の2割強

図9 指導者数・種目別内訳
(内部指導者)

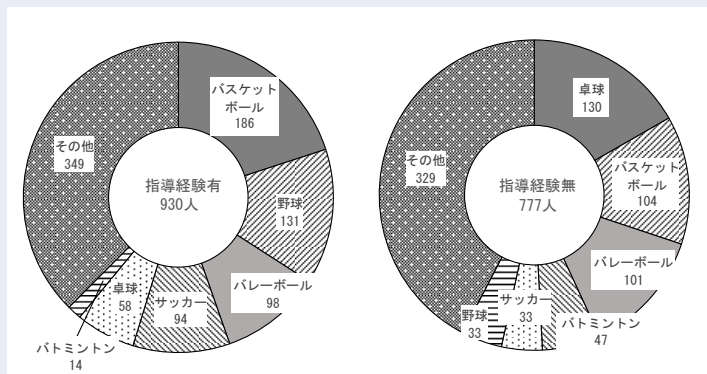


図10 指導者数・種目別内訳
(外部指導者)

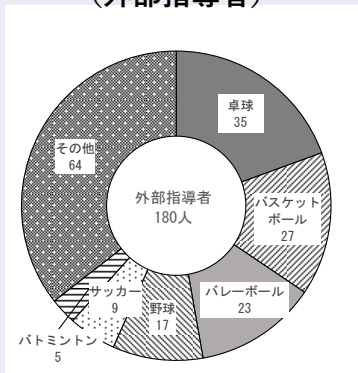


図11 指導者数・種目別内訳
(公認スポーツ資格保有者)

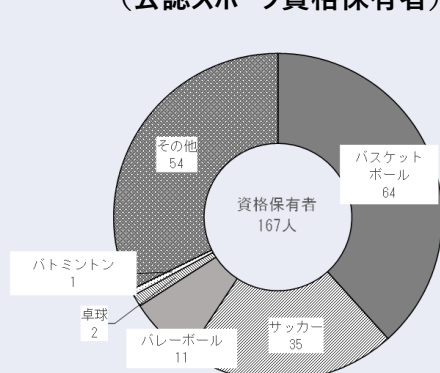


図12 部費の分布

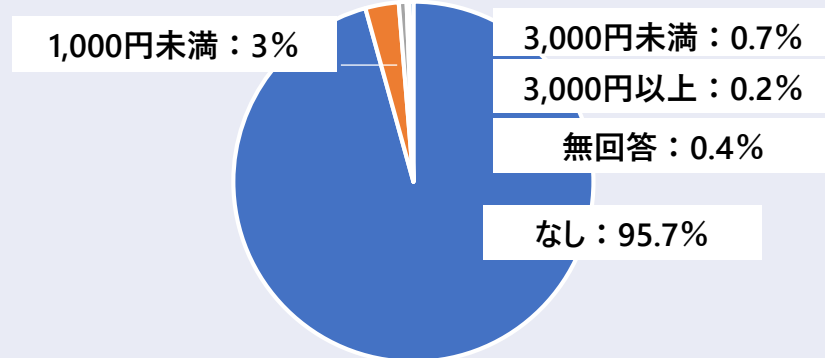
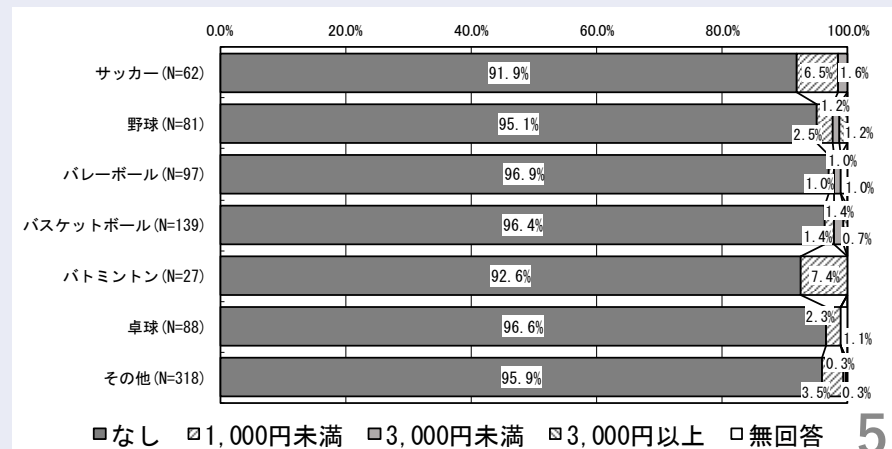


図13 種目別 部費の状況



(2) 公立中学校（京都市立学校を除く）

○練習日について

- ・練習日は、平日は、火曜・金曜が府全体のほぼ10割、月曜・木曜が府全体の約9割で、水曜のみ府全体の約2割と少ない。
- ・週末は、土曜が府全体の約6割、日曜が府全体の1割未満。つまり、平日に1日練習を休み、週末は土曜に練習する、という運動部活動が多い。
- ・すべての種目で、練習日は類似の傾向。バレーボールは、水曜・土曜の割合が他の種目に比べて少なく、週末に定期的な曜日を定めずに5割強が練習しているのが、他の種目とやや異なる。

図14 練習日

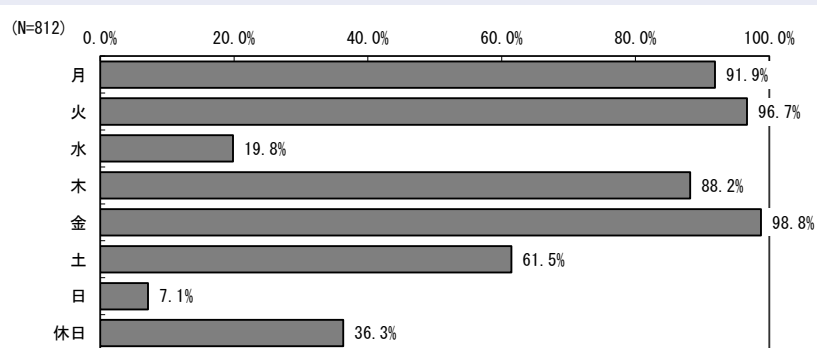


表3 種目別 練習日

	月	火	水	木	金	土	日	休日	有効回答数
サッカー	59 95.2%	61 98.4%	11 17.7%	56 90.3%	62 100.0%	36 58.1%	5 8.1%	26 41.9%	62 100.0%
野球	74 91.4%	80 98.8%	15 18.5%	74 91.4%	81 100.0%	52 64.2%	6 7.4%	28 34.6%	81 100.0%
バレーボール	91 93.8%	94 96.9%	18 18.6%	87 89.7%	97 100.0%	55 56.7%	9 9.3%	41 42.3%	97 100.0%
バスケットボール	126 90.6%	135 97.1%	32 23.0%	119 85.6%	137 98.6%	82 59.0%	13 9.4%	51 36.7%	139 100.0%
バトミントン	25 92.6%	24 88.9%	2 7.4%	25 92.6%	25 92.6%	11 40.7%	2 7.4%	14 51.9%	27 100.0%
卓球	78 88.6%	85 96.6%	15 17.0%	79 89.8%	86 97.7%	55 62.5%	3 3.4%	31 35.2%	88 100.0%
その他	293 92.1%	306 96.2%	68 21.4%	276 86.8%	314 98.7%	208 65.4%	20 6.3%	104 32.7%	318 100.0%
合計	746 91.9%	785 96.7%	161 19.8%	716 88.2%	802 98.8%	499 61.5%	58 7.1%	295 36.3%	812 100.0%

○練習時間について

- ・練習時間は、2時間以上が府全体の約75%、1時間以上2時間未満が府全体の2割強
- ・各曜日の練習時間は、平日は、いずれも1時間以上2時間未満が約7~8割、週末は、土曜に2時間以上が約75%、日曜に2時間以上が約9割
- ・練習する運動部活動のそもそも少ない水曜には、1時間未満で練習を切り上げる運動部活動が約1割ある。
- ・すべての種目で、練習時間は2時間以上が約7~8割。
- ・すべての種目で、練習時間は平日には1時間以上2時間未満が、休日には2時間以上が、いずれの曜日でも多い。

図15 練習時間（全体）

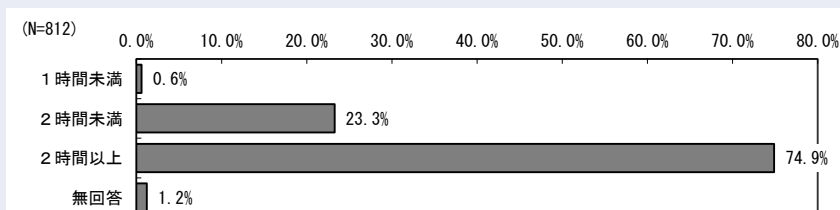


図16 練習時間（曜日別）

